



生徒が主役 海青

2026年4月13日

学校便り No.2

校長 渡辺 景輔

唐津市鎮西町横竹838番地9

【学校教育目標】

夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成
～生徒が主役の学校に～

今年度変更しました

第14回入学式・入学おめでとう！

4月10日（金）、令和8年度入学式を無事に挙行了
たしました。

当日は、大きな期待と少しの不安を胸に、緊張の面持
ちながらも凛とした姿の50名の新入生を迎えることが
できました。新たな子どもたちを迎えられたことを大変
うれしく思うとともに、3年後には「海青中学校の卒業
生であること」に誇りと自信を持って巣立っていけるよ
う、職員一同、力を尽くして支えていく決意を新たにし
たところです。

【入学式の式辞より】 …2つの言葉を紹介しました

1. 「未来とは、今の積み重ねである」

- ・中学校生活は、‘積み重ね’の連続です。一日一日を丁寧に重ねることで、3年後には驚くほど大き
く成長した自分に出会うことができること。
- ・海青中学校の一日は、そんな成長の‘タネ’であふれていること。
- ・朝は、教室でかわす「あいさつ」から始まり、その一言が仲間とのつながりを作ること。
- ・授業では、新しい発見が次々に生まれ、世界が大きく広がること。
- ・放課後には、部活動や学習に励む姿が校内に広がり、一日の終わりには達成感とともに家路に
つくこと。

2. 「置かれた場所で咲きなさい」

- ・海青中学校という場所で、自分らしい花を咲かせてほしいこと。
- ・新しい環境に不安を感じる人もいるでしょうが、同じように緊張し、期待し、そして頑張ろうとして
いる仲間がそばにいること。
- ・勇気を出して、小さな一歩を踏み出してほしいこと。その一歩が、未来を大きく変えていくこと。

それぞれの可能性を大きく伸ばし、「空と海と風」のように大きく羽ばたくことを期待しています。

【歓迎の言葉】 在校生代表

桜の花びらが舞う季節となりました。今日新たな中学校生活の第一歩を踏み出される新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

ここにいる皆さんは、これから出会う仲間や新しい生活に期待と不安の気持ちでいっぱいになっていると思います。私も2年前は同じような気持ちでした。中学生になり、これからの生活に胸を躍らせる一方、新たな環境、仲間とうまくやっていけるのかという不安を抱いていたことを懐かしく思います。

中学校では、教科ごとに担当する先生が変わり、授業の内容や環境が変わります。小学校とは違う雰囲気戸惑うかもしれませんが、焦らず毎日の授業を大切にしてください。そうすることで授業にも慣れ、勉強の楽しさを知ることができると思います。放課後には部活動があり、海青中学校には運動部が6つ、文化部が2つあります。どの部活動も大会に向けて毎日練習に励んでいます。部活動に入ることで、礼儀やマナー、仲間と協力する大切さや楽しさを知ることができます。部活動に入って学校生活をより充実させましょう。

そして、中学校では5月のバス研修をはじめ、9月の体育大会、10月の文化発表会など、たくさんの学校行事があります。バス研修は、同じ学年の子とたくさん話し、多くの人と仲を深めることのできる時間です。3年間を一緒に過ごすたくさんの仲間と楽しく学びましょう。体育大会では学年を超えて、力を合わせ全員が体育大会を創り上げます。見どころは毎年迫力のある大きなバックボードや、気合の入ったカッコいい応援合戦です。文化発表会ではクラスみんなで力を合わせて完成させる美しい合唱や、それぞれの学年で工夫されたステージでの発表や展示作品などがあります。全校で力を合わせて全員で楽しい行事にいきましょう。

これから始まる3年間の中学校生活で辛いことや苦しいこともあるかもしれませんが。そんな時は自分一人で悩まずに、友達や先輩、先生方を頼ってください。必ず皆さんをサポートします。

たった3年間の中学校生活。一日一日を大切に過ごし、仲間と笑いあえる時間を大切にしましょう。あとから後悔が残ってしまわないように、毎日を笑顔で過ごしてください。これから全員で楽しい海青中学校を創っていきましょう。そんな願いを春風に託しながら在校生を代表する私からの歓迎の言葉と致します。

～ 教科書無償化の歴史 ～

1. 高知県長浜から始まった無償化への動き

教科書無償化は、最初から全国で実施されていたわけではありません。その実現には、高知県長浜地区での住民運動が大きな役割を果たしました。1960年代の初め、長浜地区では、貧困や差別により教科書を購入できない家庭が多くありました。当時、小学校の教科書代は700円、中学校では約1200円と、失業対策事業で働く母親の1日の賃金約300円を大きく上回り、家庭にとって大きな負担でした。

「子どもたちに新しい教科書を持たせたい」という親の願いから、地域の人々は学習会を開き、憲法26条の「義務教育は無償」という理念を実現させるために声を上げました。この運動は全国に広がり、国会でも大きな議論となりました。

2. 全国制度への発展

長浜の運動を契機として、法律が成立し、1969年度には全国の小・中学生すべてに教科書が無償で配布される制度が完成しました。高知県の地域住民の行動が、国の制度を動かし、現在の無償化につながっています。

このような歴史を振り返ると、地域や親の声が国の制度を変え、今の海青中学校の子どもたちの学びを支えていることがわかります。年度初めに、この制度の意義を考えることで、改めて生徒たちの学びをしっかりと支えていかなければと感じたところです。ご家庭でも、話題にしていただければ幸いです。